様式第１号

会　議　録

会　議　の　名　称	第１回　所沢市保健医療計画推進委員会
開　催　日　時	令和８年８月２４日（月） １８時３０分から２０時００分
開　催　場　所	所沢市役所　８階　大会議室
出席者の氏名 欠席者の氏名	※別紙　「所沢市保健医療計画推進委員会委員名簿」のとおり
説明員の職・氏名	様式第２号発言者のとおり
議　題	（１） 所沢市保健医療計画について （２） 令和８年度所沢市保健医療計画進行管理スケジュール（案）について （３） 第３次所沢市保健医療計画（令和８年度～令和１１年度）の評価方法について （４） 第２次所沢市保健医療計画 令和７年度取組状況評価シートの確認について （５） その他
会　議　資　料	・会議次第 ・所沢市保健医療計画推進委員会委員名簿 ・所沢市保健医療計画推進委員会設置条例 ・所沢市保健医療計画推進委員会の公開及び会議録の取扱いについて ・資料１　所沢市保健医療計画について ・資料２　令和８年度所沢市保健医療計画進行管理スケジュール（案） ・資料３－１　第２次所沢市保健医療計画　令和７年度取組状況評価シート【第１章～第５章】（案） ・資料３－１（別紙）令和７年度からの新たな取組実績について ・資料３－２　令和７年度取組状況評価シート【第１章～第５章】（案）説明要旨 ・資料４－１　第３次所沢市保健医療計画について（概要） ・資料４－２　第３次所沢市保健医療計画　取組状況評価シート（案） ・資料５　意見シート ・市民医療センター再整備事業について

担当部課名	健康推進部	部　　長	小山　貴之
		次　　長	近藤　真希
		保健センター長	糟谷　苗美
		保健医療課長	中山　倫宏
		保健医療課主幹	森　真太郎
		（保健所準備室長）	
		保健医療課主幹	藤井　桂子
		保健医療課主査	吉野　康弘
		保健医療課主任	日野　航介
		保健医療課主任	駒井　幸人
		保健医療課主事	柿沼　慶賢
		健康管理課長	一色　義直
		健康管理課主幹	小野寺　健
		（こころの健康支援室長）	
		健康管理課主幹	千葉　喜文
		健康づくり支援課長	岩雲　美香
	こども未来部		
		こども家庭センター長	美甘　有利恵
		こども家庭センター主幹	矢野　康子
	市民医療センター事務部		
		部　　長	仲　正之
		総務課長	粕谷　憲之
		総務課主幹	武政　直行
		（市民医療センター再整備推進室長）	
	事務局　健康推進部保健医療課 電話：０４（２９９８）９３８５		

※別紙　所沢市保健医療計画推進委員会 委員名簿

No.	所　属	氏　名	出欠	備　考
1	公募委員	二瓶　広和	○	
2	公募委員	碇谷　栄治	○	
3	公募委員	小野　向日葵	欠	
4	公募委員	丸山　香	○	
5	所沢市医師会　会長	赤津　拓彦	○	※委員長
6	所沢市歯科医師会　副会長	北田　徳克	○	
7	所沢市薬剤師会　副会長	塚本　京子	○	
8	所沢市柔道整復師会　会長	吉田　南成	○	
9	所沢市鍼灸師会　会長	原澤　清一	○	
10	所沢市母子愛育会　会計	平塚　由子	○	
11	所沢市食生活改善推進員協議会　会長	丸山　静香	○	
12	所沢市スポーツ推進委員会　副会長	須藤　貢	○	
13	所沢市社会福祉協議会 常務理事兼事務局長	美甘　寿規	○	
14	所沢市介護保険サービス事業者 連絡協議会　会長	米川　智裕	○	
15	早稲田大学 人間科学学術院長・人間科学部長	扇原　淳	○	※副委員長
16	知識経験者	瀬能　幸則	○	
17	狭山保健所　副所長	小口　千春	○	
18	埼玉西部消防局 所沢中央消防署参事兼消防管理課長	和田　勝利	○	
19	市民医療センター長	黒木　康富	○	

様式第２号

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
	（開会）
事務局（中山）	定刻となったため、令和８年度第１回所沢市保健医療計画推進委員会を開会する。昨年度は第３次所沢市保健医療計画の策定にあたり、多大なるご協力をいただいた。今年度は、策定した計画の評価方法等を検討していくこととなるため、引き続きご協力をお願いしたい。 新年度に伴う役員改選・人事異動等により、３名の委員が退任し、新たに３名の委員が就任したため紹介する。 （新委員３名の紹介） ・所沢市母子愛育会　平塚委員 ・所沢市社会福祉協議会　美甘委員 ・埼玉西部消防局　和田委員 （委嘱状交付） ・机上にて交付 ・任期は所沢市保健医療計画推進委員会条例（以下、条例）第４条の規定により、前任者の在任期間を引継ぎ令和１０年６月３０日までとなる。
事務局（中山）	続いて事務局職員の自己紹介をさせていただく。 （自己紹介）
事務局（中山）	本日の委員会は、委員１名が欠席、出席者１８名であり、条例に定める定足数を満たしているため、委員会が成立していることを報告する。 それでは、開会にあたり、赤津委員長よりご挨拶をお願いしたい。
赤津委員長	（挨拶）
事務局（中山）	（配布資料の確認） 事前送付資料のうち委員名簿について、新任委員の役職名に誤りがあったため差し替える。 また「市民医療センター再整備事業について」の資料を追加配布している。 資料３－１について印刷の不備が判明したため、正しい資料を準備し差し替える。

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
事務局（中山）	（会議内容の説明） 次第に沿って、以下のとおり進行 ・議題（１）所沢市保健医療計画について ・議題（２）令和８年度所沢市保健医療計画進行管理スケジュール（案）について ・議題（３）第２次所沢市保健医療計画　令和７年度取組状況評価シートの確認について ・議題（４）第３次所沢市保健医療計画（令和８年度～令和１１年度）の評価方法について ・その他「市民医療センター再整備事業について」 （議事前の手続） 昨年度と同様、以下の取扱でよろしいか委員へ確認 会議は公開とし、会議録は要約方式で作成し、委員長の承認を持って確定する。
委員一同	（異議なし）
事務局（中山）	本日の進行は、条例第６条第１項の規定により、委員長が議長となる。
赤津委員長	それでは議長を務めさせていただく。 （傍聴者確認） （傍聴者７名入室） 議題（１）所沢市保健医療計画について、事務局から説明をお願いしたい。
事務局（吉野）	【議題（１）所沢市保健医療計画について説明】
赤津委員長	次に、議題（２）令和８年度所沢市保健医療計画進行管理スケジュール（案）について、事務局から説明をお願いしたい。
事務局（吉野）	【議題（２）令和８年度所沢市保健医療計画進行管理スケジュール（案）について説明】

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
赤津委員長	議題（４）第３次所沢市保健医療計画（令和８年度～令和１１年度）の評価方法について、事務局から説明をお願いしたい。
事務局（日野）	【議題（４）第３次所沢市保健医療計画（令和８年度～令和１１年度）の評価方法について】 ※資料３－１の差し替え作業のため、議題（３）に先行して審議 （第３次計画の概要について） 資料４－１のとおり説明 （評価方法について） 定量的な指標については、目標値に対する実績の達成度によりＳ～Ｄ等で評価する。定性的な指標については、原則「○」とし、充実、改善が見られた場合は「◎」、未実施や縮小等の場合は「△」とし、必要に応じて特記事項を記載する。 第３次計画から新たに、計画全体を総括する評価シートを設けることを検討している。「市民主体の健康づくり」と「多様な主体との連携・協働」の観点から、目標指標の達成状況、取組実績、委員会意見を踏まえ、年度の総括及び今後の課題を整理する。 また、各論の評価シートについて、【事業名、事業概要、具体的な実績、新規・変更・補足事項】を区分して記載し、従来の自由記述中心の様式から、より分かりやすく整理する。 指標については、「数値が上がるほど良い指標」「数値が下がるほど良い指標」等、指標の性質を明示する項目を新設する案である。 「委員会コメント」についても、従来の一括記載ではなく、各節の最後に設ける。
赤津委員長	気になったのが、現状値と目標値の順番である。大元の計画も今回の資料も「現状値があって、その右側に目標値」という並びになっている。 「目標値があって、現状はこうです」という並びもあると思うのだが、わざわざこの順番にしているのは、何か作る側の思いがあるのか。
事務局（日野）	事務局としては、まず「こういう指標です」ということがあって、そのうえで「現状がこうで、そこからどこを目指すのか」という流れで、左から順番にみていただくイメージで作成している。

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
赤津委員長	「目標があって現状がこう」ではなくて、「現状から目標を目指す」という意味でこの並びにしているということで承知した。 レイアウトそのものは、個人的には前よりかなり見やすくなったと思う。特に「委員会コメント」が各節ごとにしっかり書けるようになったのは分かりやすい。 議題（３）第２次所沢市保健医療計画　令和７年度取組状況評価シートについて事務局から説明をお願いしたい。
事務局（柿沼）	【議題（３）第２次所沢市保健医療計画 令和７年度取組状況評価シートの確認について】 （令和７年度の評価結果について） 第１章から第５章までの目標指標は３８項目ある。令和６年度実績との比較等を踏まえ、 ・目標達成または改善したもの：１６件 ・現状水準を維持したもの：１７件 ・現状水準を下回ったもの：１件 ・現時点で実績未確定：４件 となっている。 実績未確定の４件については、国や県からの統計データがわかり次第、反映する。達成度が上昇した主な例として ・健康マイレージ参加者のうち健康に気を付けている人の割合 ・認知症サポーター要請講座受講者数 がある。 一方、達成度が低下した主なものとして、 ・かかりつけ歯科医を持つ人の割合 ・心の健康講座等参加者数 がある。令和７年度からの新たな取組は１５件、再開した取組１件、形を変えて実施した取組２件である。
赤津委員長	（資料３－１の印刷不備について） 今配られた新しい資料３－１と事前に我々に配られていた資料は、どこが違うのか。
事務局（日野）	本来は両面印刷の資料だったものが、事前送付分では片面印刷になっていた。そのため、頁が１、３、５という形になってしまい、偶数ペー

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
	ジが抜けていた。本日お渡ししたものは、１ページ目から最後まですべて反映されたものである。
赤津委員長	（資料３－１　ｐ．１５　第１章　第４節（３）口腔機能の維持及び向上） 上と下でほとんど同じ取組が書かれており、令和７年度実績の参加人数だけが違って見える。わざわざ分けている理由は、それぞれ別の課から出ていることか。
事務局（日野）	ここは記載対象が違う。上段が「障害児施設」、下段が「障害者施設」で対象が別になる。本来、参加人数もそれぞれ異なるものだが、下段の障害者施設の実績人数が抜けている。次回までに修正する。
赤津委員長	（資料３－１　ｐ．１９　第２章　第１節（２）脳卒中・心筋梗塞） 主な取組実績（２）と（３）について、全く同じように見える。
事務局（日野）	第２次計画の評価シートは「今後の市の方向性」の項目に、それぞれ取組を当てはめて記載しているため、結果として重複しているように見える箇所がある。ご指摘を踏まえ、関係課とも確認し、違いが分かるような取組に修正できるか検討する。
赤津委員長	（資料３－１　ｐ．３７　第４章　第２節（１）所沢市歯科診療所あおぞら） 主な取組実績（３）の２行目について、「訪問診療を行う歯科医（棟）」となっている。この（棟）は誤植か。
事務局（日野）	ご指摘のとおり。最終的には市民の皆さんに公表する資料となるため、ご指摘いただいた箇所だけではなく、全体を改めて精査する。
赤津委員長	（資料３－１　ｐ．５　第１章　第１節（３）生活習慣病予防（がん・高血圧・糖尿病等）） 目標指標について、令和６年度の７０．８％から令和７年度は８０％台まで、ずいぶん上がっている。何か「これをやった」という取組があるのか。
事務局（岩雲）	特に一つ大きく何かを変えたということではないが、健康増進について継続して啓発を進めてきた結果が表れてきたものと考えている。

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
赤津委員長	例えば、アンケートの取り方を変えたとか、アンケート対象を変えたとか、そういうことではないのか。健康に関心の高い人ばかりを対象にすると、当然数字は高くなるのではないか。
事務局（岩雲）	対象は健幸マイレージの参加者で、方法自体は変更していない。参加者が増えれば回答者数は増えるが、調査方法は同じである。
赤津委員長	（資料３－１　ｐ．１１　第１章　第３節（３）次世代に伝えたい食文化） 食育では、地産地食の給食をやっているということで、とても大切な取組だと思う。 一方で、今、病院や介護施設では「給食を作る人がいない」ということがかなり問題になっている。高齢者向けの配食事業なども、これから厳しくなるところが出てくると思っている。学校給食の人材は大丈夫なのか。
事務局（日野）	学校給食の人員体制など、詳細については本委員会の事務局では把握していない。
赤津委員長	今後は給食の担い手そのものが大きな課題になると思うので、将来の問題として考えておいていただきたい。 （資料３－１　ｐ．１３　第１章　第４節（１）歯と口の健康意識の向上） 「かかりつけ歯科医を持つ人の割合」だが、これはどうやって「かかりつけ歯科医を持っている」と把握しているのか。
事務局（岩雲）	成人歯科検診を受診された方について、その後の歯科指導の際などにアンケートを取っている。
赤津委員長	ということは、成人歯科検診を受けに来た人のアンケートということか。そうすると、そもそも受けに来ない人がかなりいる。検診を受けに来る人は健康意識が高い可能性もあるので、その集団だけを見て、市民全体がそうだとは簡単には言えないと思う。 「よく噛んで食べられる人」なども同じで、施策に乗ってきた人たちが母集団になっている可能性がある。評価するときは、その数字がどうやって作られたものなのかを意識していただきたい。

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
黒木委員	（資料３－１　ｐ．２２　第２章　第２節（２）うつ病・統合失調症等） 目標指標「こころの健康講座等参加者数」について、令和６年度と比べて目標値自体が変わっているように見えるが理由は何か。
事務局（小野寺）	以前は「こころの健康講座」と別事業を合算した人数を指標としていた。第３次計画では、保健医療計画としてより保健分野に沿った評価とするため、「こころの健康講座」とセミナー動画配信の視聴者数等による指標に見直ししている。
赤津委員長	議題（５）その他について、事務局から説明をお願いしたい。
事務局（中山）	【その他　市民医療センター再整備事業について】 （議題の背景について） 市民医療センター再整備に係る予算案は、市議会において否決された。これを受け、令和８年６月に市民医療センター単体ではなく、保健・医療全体の観点から議論するため、市議会に「保健医療特別委員会」が設置された。７月から保健医療計画、病院事業会計の現状・課題等について議論が始まっている。詳細について、市民医療センター担当から説明する。
事務局（武政）	（市民医療センターの概要・再整備経緯） 市民医療センターは昭和５１年に開設し、今年で５０年を迎える。主な機能は、内科入院・外来、小児科外来、人間ドック等の健診事業である。 内科病床は４９床で、急性期病床３６床、地域包括ケア病床１３床を有する。 小児科では、一般外来に加え、小児神経・発達相談等の専門外来や、関係機関の協力による３６５日の急患診療を実施している。 施設・設備の老朽化及び構造上の課題から再整備を検討し、令和３年度に基本構想、令和４～５年度に基本計画を策定した。令和６年度から設計を行い、現在地で診療を継続しながら建て替える計画としていた。 （事業費と議会での議論） 令和５年度末の基本計画では再整備事業費を約４８億円と見込んでいたが、その後の建築費や人件費等の高騰を踏まえ、また、今後の物価上昇も見込んで、令和８年度当初予算では工事費約１０６億円、その他費用を含め約１１０億円を計上した。しかし、市議会では予算案が否決

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
	された。反対意見としては、建設費増大による市財政への影響、将来世代への負担等が挙げられた。 　一方、「市の財政は一定程度安定している」「少子超高齢社会において公立病院の役割は今後も重要である」との賛成意見もあった。 　市民医療センターは現在、一般会計から年間約４億円の繰り入れを受けている。工事費約１０６億円を借り入れ、３０年間で償還した場合、利息を含めた年間償還額は約５．５億円と試算され、現在の繰り入れと合わせると約９．５億円となる。 　今後は病床利用率の向上、人間ドック等の利用者増加、経費削減等により赤字幅を圧縮する必要がある。 　現在は、既存設計から建設費を削減できるか検討するとともに、地域の医療環境や市民ニーズが基本構想・基本計画策定時から変化していないか再検証している。 　保健医療特別委員会からは１２月を目途に、市民医療センターの在り方や再整備事業の方向性について提言がされる見込みである。
赤津委員長	市議会では特別委員会を設置して、これからどうするかを議論していくことと思う。これはいつも言っているが、「お金は無尽蔵ではない」という前提で、今後どう政策を進めるかを考えないといけないと思う。 　公的医療機関が何を支えるのかというと、当然、不採算の部分を支えることになる。ただ、その「不採算の医療」の中で、市民が本当に求められているものは何なのかという問いが出てくる。 　所沢が恵まれていると思うのは小児医療である。市民医療センターや地域の医療機関が一生懸命支えていて、非常に手厚い。では、それ以外はどうなのか。この問いは必ず出てくる。 　それから「公的な医療機関」とは市立病院だけなのかというと、そうではない。社会医療法人のように公的な役割を担っている医療機関もある。所沢にはそうした医療機関もある。 　地域全体で見たときに、その上で市立病院に何が必要なのかを考える必要がある。財政も考えなければならない。所沢の経常収支比率は９０％台だが、今後、中核市移行や保健所設置などでさらに上がる可能性がある。経常収支比率が上がるということは、財政の自由度がなくなるということ。何かあったときに対応しにくくなる。 　財政調整基金も、年度末に８０億円あるから安心だという単純な話ではないと思う。年度途中には使途が決まっている部分もあり、本当に自由に使えるお金がどれだけあるのか、という見方も必要である。 　病院は、現在の高齢者を含む市民が恩恵を受ける。一方で、３０年間

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
	の償還を払っていくのは、私たちのこどもや孫の世代。そこはちゃんと議論してほしい。「誰が負担して、誰のために進める事業なのか」そしてこの事業をやることで、逆にできなくなる事業は何なのか。民生費も今後増えていく中で、災害対応など別の方法にお金を使った方が効果的な場合はないのか。 　そういった部分まで含めて総合的に考えていただきたい。作る、作らないは、市民や議会が判断することだと思う。ただ、決めた後に「知らなかった」という話ではなく、将来世代に対して「こう考えて、こう決めた」と胸を張って説明できる議論にしてほしいと思う。
事務局（日野）	【連絡事項】 　意見シートの提出期限について、当初「９月１日（火）」と案内したが、資料３－１の差し替えが本日となったことを踏まえ、９月８日（火）までに延長する。
事務局（岩雲）	令和７年度取組状況評価シートの目標指標「健康に気を付けている人の割合」が上昇した件について補足する。 　直接的な因果関係を示すことはできないが、令和７年度から、食塩やカリウム、生活習慣病等に関する動画配信をはじめ、複数の啓発事業を実施している。こうした取組の積み重ねが、市民の行動変容や健康意識の向上につながっている可能性が考えられる。
扇原副委員長	（挨拶）
事務局（中山）	長時間にわたり審議いただき感謝申し上げる。 　以上をもって、令和８年度第１回所沢市保健医療計画推進委員会を閉会する。 （閉会）